

～甘過ぎるほど甘い!!～
プリンスメロン査定会

5月14日(木)

J A鳥取中央本所で行われたプリンスメロン査定会には、生産農家など関係者が出席しました。今年は、1、2月に大雪など悪天候に見舞われましたが、春は、好天に恵まれ、例年以上に甘みの乗った良いできになりました。プリンスメロンは、粉ミルクやブドウ糖を使った減農薬栽培を行い、人にも環境にも優しい倉吉の名産品です。



～鳥取出身覆面プロレスラー～
**ブラックバファローさん
市長表敬訪問**

5月15日(金)

今までは正体不明の覆面レスラーでしたが、プロフィールを明かしたことで、鳥取の皆さんから応援してもらえるようになりました。プロレスを通じて地元鳥取県をPRしていきます。



～第31回全国伝建総会倉吉大会～
**打吹玉川伝統的建造物群保存地区
現地視察**

5月21日(木)

全国から約200人の参加者が集まり、総会や研修会、現地視察などが行われました。現地視察では、居住者・建築士会・ボランティアガイドの皆さんの説明を受けました。



▲旧豊田家住宅での説明

まちがど
ピンナッツ

～びくともしないね～

**第31回櫻杯争奪相撲選手権大会
ぶつかり稽古**

4月26日(日)

佐渡々嶽部屋の琴欧洲関、琴国関がちびっ子力士に胸を貸しました。あいにくの雨模様でしたが、集まった観客からは熱い声援が飛んでいました。



～等身大の自分を描こう～
はたこうしろう講演会

5月10日(日)

若手絵本作家の、はたこうしろうさんを招き、絵本・読書にかかわる講演とワークショップが行われました。ワークショップでは、参加した20人の子どもたちが、自由な発想で意欲的に作品作りに取り組みました。





◎谷ロジロー『通かな町へ』小学館

一意専心(いちいせんしん)

倉吉市長 長谷川 稔

「市報の市長欄、中学生程度に理解でき、身近に感じて読んでいます」と言っていたことがあります。

中学生といえば感受性が強い年ごろであり、私も中学時代、校庭で浅沼委員長が演説中に刺殺されたニュースを聞き、衝撃を受けたのを覚えています。このこともあり、国会や霞ヶ関を移動するとき、日比谷公園をよく歩きます。日比谷公園の歴史は大名屋敷跡地を百年近く前、全国の公園に先駆けて整備をされ、本市の打吹公園も翌年、造成されています。

東京では江戸時代以来の土地利用形態と個人の土地利用の権利をかなり認める中で、町並みができ、大正八年に都市計画法を制定、この時、用途地域の計画をつくっています。

それだけに、当時の東京市

長であつた後藤新平はできもしないことを言う大風呂敷と呼ばれた由縁でもあるわけです。真実は「この市街地はいつの間にか存在したようだが、必ずだれかが負担して、また政策に基づいて道路や公園ができています」と正直な説得を行っています。

本市ではかねてから、用途区域の方に多く納税をいただく都市計画税の課題をもってきました。このため、問題を伏せるのではなく、外向けに提示するうえで、職員以外での検討委員会を設け、論議を始めました。キーは①都市計画税の税率が固定資産税1.5%に0.2%上乗せとなるため、賦課対象区域では結局、1.7%となっている。②目的税としているが、下水道事業の拡大などにより、対象区域に整合性を見直す必要がある。

これらを踏まえ、現在の税率は引下げること減収となることになりましたが、市内での税源の偏在と均等に負担する方向に近づけることが求められていると考えます。

このたびだけは見直しするにも時間がないという逃げ道に入らず、解決することをめざしています。



アンニョンハセヨ?

皆さんは韓国の古典の「春香伝(チュニヤンジョン)」をご存知ですか。

韓国ではだれもが知っているお話で、小説だけでなく、パンスリ(一人で歌ったり台詞を言ったりする韓国の伝統芸能)、ミュージカル、ドラマや映画など、さまざまなジャンルで演じられています。

内容は、地方官吏の息子である李夢龍(イ・モンニョン)と妓生(キーセン)の娘である春香(チュニヤン)との悲恋物語で、端午の節句の時に、外でコネ(クネ)(プランコ)に乗っていた春香に李夢龍が一目惚れすることから物語が始まります。

今ごろになると端午のこと、この物語が思い浮かびます。6月に端午の節句なんてと思われるかも知れませんが、韓国では

端午だけでなく、お正月(ソルナ)やお盆(秋夕(チュソク))なども旧暦で過ごします。そのため、ちようど今ごろが端午の節句(旧暦5月5日)になります。

端午の「端」は「はじめ(一番目)」、「午」は「五」を意味します。つまり、端午は「月の五日」という意味であり、一年中で最も「陽気」が盛んになる日として、昔から大きな年中行事の一つでした。これから雨が降るようになり伝染病などの恐れがあるので、厄除けとしてヨモギの餅を食べたり、女性は菖蒲湯で髪を洗ったり、菖蒲の根でかんざしを作り髪に飾ったりしました。

本来は田植えが終わった後の短い休憩を利用して、その年の豊作などを祈願する日でしたが、今では普通のお祭りが催されるようになり、シルム(韓国相撲)大会や女性のプランコ大会などが行われ、シルムの優勝者は牛一頭をもらいます。また、各地で大きな市が立ち多くの人が集まります。

しかし、最近では端午をはじめ、多くの伝統的な祭りが近代化とともになくなっています。

そんな中、私の故郷でもある江陵(カンヌン)では「端午祭(タノジエ)」として今でも大きな祭りが催されており、2005年

11月にはユネスコ世界無形遺産として指定されました。旧暦4月5日、神様に奉納する「神酒(シンジュ)づくり」から始まり、5月7日まで続くこの祭りは、一見の価値があると思います。

私もこの時期になると、江陵の真ん中を流れる南大川(ナムデチョン)の土手の下にできる、又汗(クッパン)(韓国の巫女のお払い儀式とその空間)や韓国式土俵、チマチヨゴリをなびかせながら乗るプランコ、伝統音楽を演奏する人々や난장(ナンジャン)(市場)などが懐かしくなります。



▶朝鮮時代後期の風俗画家・申潤福(シンユンボク)の「端午図」

●今月の一言●

タノガクンナミョン チャンマネヨ
단오가 끝나면 장마네요.
端午が終わると梅雨ですわ。



とりたん オープンキャンパス開催!

今年も、高校生や地域の人を対象に、5回のオープンキャンパスを行います。授業体験、学生たちの案内による施設見学など、楽しみながら学生気分を味わうことができます。

進学を希望する高校生や社会人の人はもちろん、ご家族や一般の人の参加も大歓迎です。ぜひお越しください。

- ・第1回：6月 7日(日)
 - ・第2回：7月12日(日)
 - ・第3回：8月23日(日)
 - ・第4回：9月13日(日)
- いずれも11:15～15:30
(受付10:30～)
- ・ミニオープンキャンパス
10月24日(土)
- ※詳しい日程・内容は未定

イベント内容

- ☆大学概要説明
- ☆施設見学
- ☆なんでも相談
コーナー
- ☆社会人相談
コーナー
- ☆保護者対象説明会
- ☆スタンプラリー(第1回)
- ☆クラブ・同好会紹介(第2回)
- ☆卒業生パネルディスカッション(第3回)
- ☆ウォークラリー(第4回) など

昼食：無料

無料送迎バスあり

- ・倉吉駅4番バス乗り場発(10:40、11:00)
- ・帰り短大発(15:40、15:55)

※申込・問合せ先：鳥取短期大学入試広報課
(☎26-9171)



キラ★リ

No.37

かわもと しんじろう
河本 慎二 さん
(オーボエ奏者)



★お仕事は? ———皆さんは「オーボエ」という管楽器をご存知でしょうか?今、非常勤講師として河北小学校に勤務する傍ら、出雲芸術音楽アカデミー音楽院で講師としてオーボエを指導したり、オーケストラ・室内楽の演奏会に出演したりしています。また、地元倉吉市の高等学校の吹奏楽の指導も行っています。子どもたちは本当に純粋で、大人をよく見ています。言葉、行動、服装、歩き方から顔のほくろの数まで……。先生として子どもたちに「教える」という立場ですが、地域の皆さんやそのほかの先生方、そして何より子どもたちから「教えられること」の方がはるかに多い日々を過ごしています。

★最近の話題・目標 ———音楽は、僕にとってやはり少し特別なものです。「音」で楽しく伝え合ったり、表現したり、遊んだり、感じたりできることは音楽の大きな魅力です。感じたり、思ったことを表現するために声や楽器を使います。そうすることで感性、つまり感じる心が育つと思っています。これは普段の生活の中で人の気持ちを感じたり、思いやりの心を持つことにつながると思います。合奏、合唱などではみんなと心を合わせることで、すばらしいハーモニーが生まれ協調性も身につきます。音楽というものを通してこれまで学んできたことや経験してきたことが今の自分の人生の柱の一つになっています。

★最近の話題・目標 ———どんなものからでも子どもたちに伝える手段は多々あると思いますが、僕の場合、たまたまそれが「音楽」でした。これからも地元倉吉で「音楽」を通して子どもたちやいろいろな人と関わって、人生を楽しく、有意義なものにしていきたいと考えています。

★プロフィール：昭和55年7月生まれ(かに座)/A型

今後の演奏予定：アザレアのまち音楽祭2009「ミニ・リサイタル・リレーコンサート」とき：6月7日(日)午前11時～
ところ：倉吉未来中心 小ホール / 入場料：700円



リズムにのって親子で遊ぼう!

さあ!梅雨の雨をリズムに乗って吹き飛ばしましょう♪今月は、小さな子どもたちが音楽の楽しさや身体を動かす心地よさを味わえる、親子で楽しめるリズム遊びを開催します。歌あり、ピアノの連弾あり、そして親子で一緒に身体を動かしてたくさん遊びませんか?

とき：6月24日(水)午前10時30分～11時30分

ところ：子育て総合支援センター「おひさま」

対象：0～5歳の子どもと保護者(30組程度)

講師：福田 裕子さん、吉田 倫子さん 参加費：無料

申込期限：6月19日(金)

※申込・問合せ先：子育て総合支援センター「おひさま」

(☎/☎22-3914)

編集後記

■この市報6月号の入稿と、我が家の新中学生の中間テストが同じ日でした。初めてのテストで勝手が分からず四苦八苦していましたが、それなりに夜遅くまで頑張って勉強していました。教科書や参考書を覚えるだけでなく、「勉強」から生まれる、知識を広げたり、問題を解いたりすることの「楽しさ」を若い脳で感じて欲しいと願っています(Y.T)

■久々に、打吹玉川伝統的建造物群保存地区を歩く機会がありました。高校生のとき、毎日自転車通勤していた道でしたが、印象がずいぶん変わっていました。倉吉には、私が知らない場所がまだまだたくさんあるんだろうなと感じた時間でした(K.K)

●倉吉市の人口 (基本台帳)

24,184人(+46)男
26,967人(+52)女
51,151人(+98)計
20,282世帯(+95)

●外国人登録者数

95人(-1)男
187人(-4)女
282人(-5)計
232世帯(-3)
(H21.4.30現在)